

Hallmarker



新機能

Version 5.1

5.0の新機能にプラスして更なるバージョンアップ

- 印刷シミュレート機能**
 印刷のシミュレート機能追加により、過剰な不良検出を軽減しデジタル/アナログ検査をより強力にサポート
- PDF入力機能強化**
 特色、レイヤー選択機能に加えて、CADカット線からの検査範囲の読み込み機能を実現
- レポート機能の充実**
 PDF、WEBブラウザからの表示など詳細に広範囲にカバーできるようになりました。
- 歪み補正の進化**
 歪んだ軟包装、折れた輪転出力紙、校正紙を強力にサポートします

紙の印刷物でも印刷前のデジタルデータでも
 検査対象を選ばずどんな組み合わせでも検査できます!



印刷物が製造されるまでどの工程でも検査が可能となり、確実に印刷物の品質を保証。

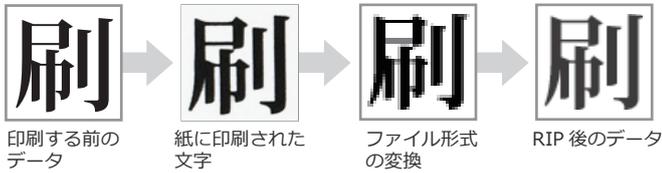


そしてそれは確実にクライアントの
 信頼を獲得します。

その時見つけるべき不良が「見える」一歩先に行く検査エンジンが検査を変えます

一般的な検査ソフトの抱える問題点

例えばDTPから印刷までの工程の間に、
文字ひとつを見てもここまでの変化が生じています



一般的な検査ソフトは**この差を全て不良だと検出し**
検査結果はこのようになってしまいます。

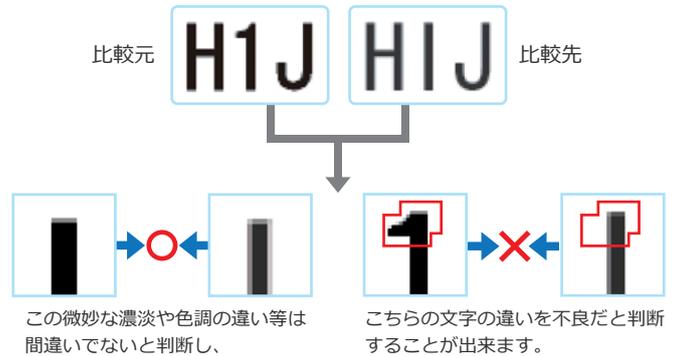


差のある部分が赤枠で囲まれ不良箇所として表示されています。

見つけるべき不良が埋もれ
「色々な組み合わせの検査が可能」と言いながら、
実際の現場では「不良を見つける」ことが出来ません。
多くの一般的な検査ソフトが抱える問題がここにあります。

一歩先に行くアイマイン・エンジン

例えばこの様な比較検査をアイマインが処理すると…

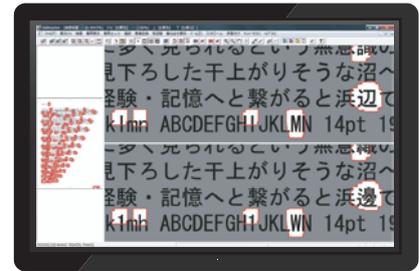


この微妙な濃淡や色調の違い等は
間違っていないと判断し、

こちらの文字の違いを不良だと判断
することが出来ます。

その結果

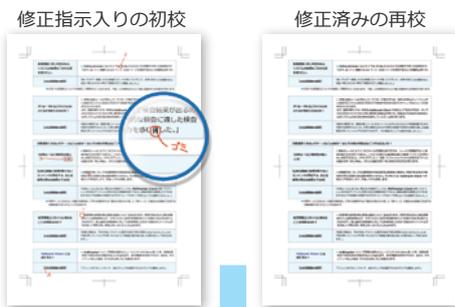
**「その時見つけるべき不良を見つける」という、
検査ソフト本来の役割を果たすことができます。**



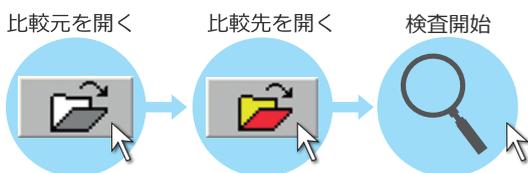
代表的な機能と検査例

原稿ならスキャンして、データならそのままファイルを開き検査を開始するだけ。2画像を比較し、差のある部分を枠で囲んで結果表示することが基本的な機能です。

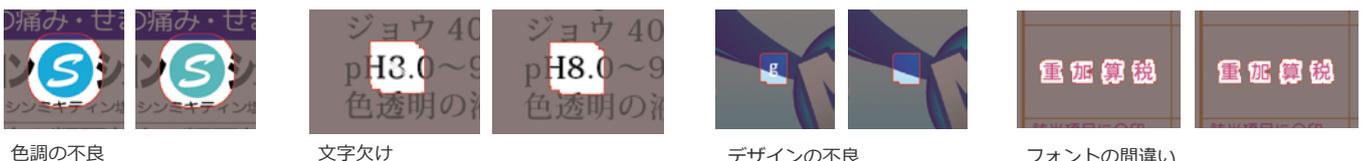
例えば再校が正しく修正されているかの検査



かんたん操作で検査開始

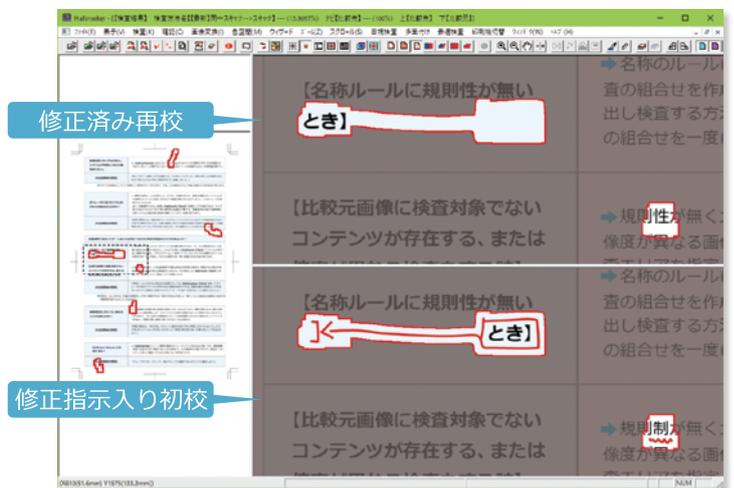


検出例



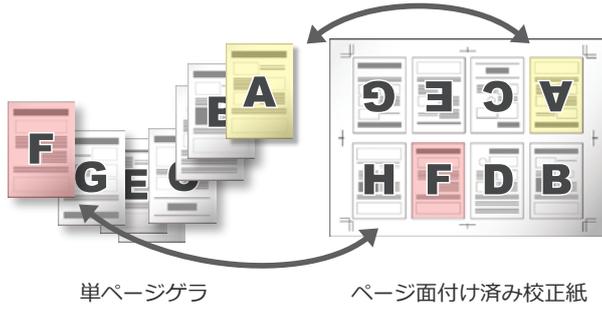
誰でも簡単に検査結果を判断

画面を分割して比較元・比較先画像を同時に表示、違いのある部分が赤枠で強調表示され、習熟度に関係なく誰でも簡単に不良を見つけることが可能です。



単面とページ面付けの検査

面付けされた比較先から自動で位置を検出、検査が開始されます。回転していることも自動で判断し、回転方向を合わせて検査を進めます。

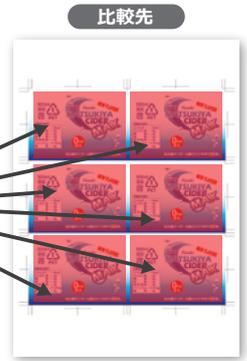


単面と多丁付けの検査

比較元の単面で検査したいエリアを指定すれば



比較元の単面



多丁付けされた全ての比較先を自動的に検出し検査します

PDFのハンドリング機能 (デジタルPDFオプション)

読み込み時に、特色やレイヤーを選択することが可能です。検査に不要なCADの罫線、カット線を外したり、ニス版を外したりすることが可能です。

また、パッケージの様な複雑な形の検査にも、簡単な検査範囲を指定するだけで検査が可能な他、PDFに保存されたCAD用カット線情報をそのまま検査範囲として読み込む機能もオプションにてお選び頂けます。



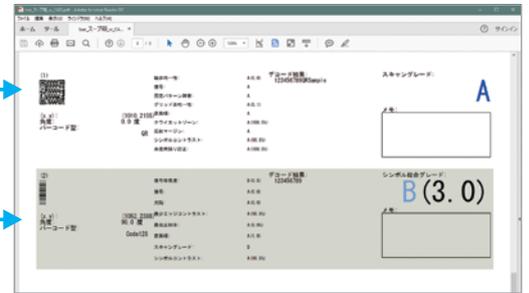
簡単な検査範囲を指定



CAD用のカット線を検査範囲として読み込み

バーコードの品質検査機能 (バーコード検査オプション)

バーコードオプションでは、原稿に含まれるバーコードを検出し、デコード、および品質を「ISO/IEC 15415 (2次元シンボル)」と「ISO/IEC 15416 (1次元シンボル)」に準拠したアルゴリズムで検証します。また、あらかじめ用意したCSVファイルとの整合性の確認を行うことも可能です。



バーコードを検出し、それぞれの個別詳細評価やレポートを表示します。

さらに多彩な検査結果表示

レイアウトや文字組みが変更になった原稿も簡単にチェック、マウスを合わせてワンクリックで部分ごとに位置合わせ可能。

比較元・比較先の原稿がそれぞれ赤・青で表示され文字組みの変わった部分が一目で分かります。

位置合わせ不可能な原稿では探りも簡単なる位置合わせ機能も用意されています。また、検査は図形として保存でき、パターン化したテンプレートとして使用できます。

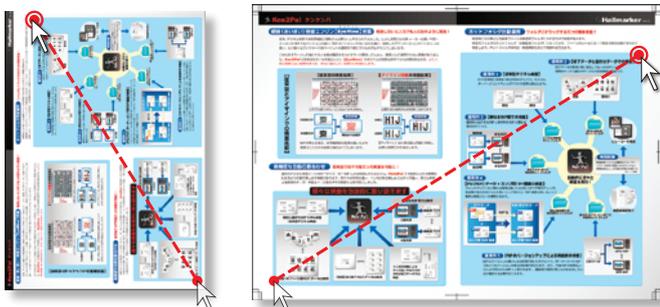
位置合わせ不可能な原稿では探りも簡単なる位置合わせ機能も用意されています。また、検査は図形として保存でき、パターン化したテンプレートとして使用できます。

ワンクリックで「バ」の文字を起点に再レイアウト

回転しているサイズの違う原稿

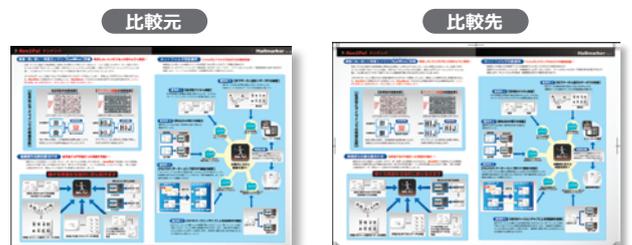
検査対象の内容が同じでも、サイズ・方向が大きく違う場合があります。このような場合でも、数クリックで簡単に検査に適したサイズに変更。

比較元 縮小カンパ (A4)
比較先 原寸のデータ (A3ノビ)



それぞれの画像から同じポイントとなる二ヶ所をクリック

自動的に拡大・縮小率が計算され、検査に最適なサイズに変換されます。後は同様に検査を開始するだけ。



回転方向の違いも自動で検出し検査を開始します

検査結果は、ホールマーカ本体で確認するだけでなく、フリーソフトのホールマークビューワを使用することで社内の承認ワークフローを構築することもできる上に、PDFレポートをクライアントに配布することで検査結果を広範囲に共有することができます。

●簡単に結果を確認、見逃し無し



ホールマーカ、ビューワで確認

共有フォルダ



社内

●判定・承認機能で担当者の履歴管理

一次検査、二次検査と進んで行く過程で、各担当者が不良箇所に対し、不良の種類をタグ付けしたり、コメントを記入することができる「判定・承認機能」も搭載。検査品質の向上だけでなく、記録作成を含む、管理体制の強化も可能となります。

さらに、ビューワファイルを共有すれば、確認フローにクライアントを加えることも可能です。

●権限別のログイン機能で一定の検査品質を維持

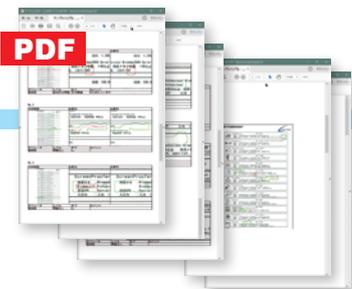
システム管理者、作業担当者、承認権限者など、現場の状況に合わせ、アカウント別にログイン管理する機能により、不用意に検査設定が変更されることを防ぎ、一定の検査基準を保つことができます。



検査結果ファイル

●結果を簡単に共有

結果確認ソフトは無料・配布自由です。離れた部署やクライアントとフォルダやメールで同じ結果を共有・確認できます。



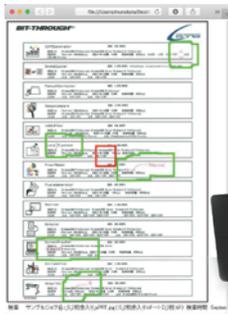
メール添付



クライアント

●PDFレポート

確認機能で追加した、個々のエラーに対する判定、タグ付け、コメント、作業担当者名を含む詳細な報告書として利用できます。



●ブリンクHTML

MACユーザー向けにWEBブラウザでアオリ表示が可能となり、モニター校正が可能です。



製品バリエーション (オープンブライス)

Hallmarker A3+ (ホールマーカ・エサンプラス)

A3ノビ(329 x 530mm / 400dpi相当)までの制限あり

Hallmarker Unlimited (ホールマーカ・アンリミテッド)

検査画像サイズに制限はありませんが、検査可能サイズはPCのスペックに依存します。

オプション機能価格

| | |
|--------------|--------------|
| デジタルPDFオプション | ¥550,000(税込) |
| バーコード検査オプション | ¥440,000(税込) |

スキャナ連動自動検査オプション ¥770,000(税込)

推奨動作環境

OS : Windows 10 Pro 64bit Intel Core i7以降 RAM : 8GB以上

※Ver.5.1以降は64bit製品のみとなります。32bit版をお使いのお客様はバージョンアップ時に64bit版へ移行となりますので、価格など詳細はお問い合わせください。



【開発元】
株式会社ジーティービー
http://www.gtb.co.jp

【神戸本社】
650-0002
兵庫県神戸市中央区北野町3-5-3
TEL 078(265)5385 FAX 078(265)5389

【東京支社】
101-0032
東京都千代田区岩本町2-8-15 井桁ビル7F
TEL 03(6876)8768 FAX 03(6683)7279

【ショールーム・ラボ】
651-0094
兵庫県神戸市中央区琴ノ緒町5-7-17 小橋ビル2F
TEL 078(265)5388 FAX 078(584)0966